

百病の源「瘀血」には「活血化瘀法」 「冠元顆粒」におまかせください

瘀血は脳・心臓に致命的

血液は血管を通過して体のすみずみまで酸素や栄養を送り届け、また老廃物を運び出すという大切な役割を担っています。この流れがスムーズに行かないと各組織はダメージを受けさまざまな病気を引き起こします。体を養うため、本来、スムーズに流れなければならぬ血液が何らかの原因によって流れにくくなった、流れなくなった状態を漢方では「瘀血（おけつ）」とよびます。心筋梗塞や狭心症、脳梗塞などが瘀血が原因の病気の代表です。血管内に



血の固まり（血栓）ができ、それが血管をふさいでその先に酸素や栄養分が運ばれなくなってしまう血栓症の病気です。血栓症が心臓の動脈で起こると心筋梗塞、脳の動脈で起こると脳梗塞となります。心臓に送られる酸素が六時間断たれると心臓の細胞は壊死してしまいます。そして二度と再生しません。脳にいたってはたった三分間酸素が断たれただけで永久に損傷を受けてしまいます。

血液の流れが滞ると、脳と心臓という重要な臓器は致命傷を受けます。「血液の流れのどこかおこり」瘀血」の人体への影響は非常に大きいことがわかると思われます。

瘀血の三大サイン

瘀血が起きると、体はいろいろな警告信号を発します。いちばん身近なものは肩こりです。また、打ち身の青アザも瘀血の一つです。さらに進行し、組織や器官に瘀血が発生すると心臓病・脳血管障害・肝臓病・糖尿病・胃潰瘍・リウマチ・慢性皮膚炎・婦人病などのさまざまな病気や不調となってあらわれます。まさに「瘀血は百病の源」となるわけです。

このように瘀血は怖いものですが、その反面、瘀血の有無をチェックすることで病気の有無や兆候を知ることが出来ます。瘀血の三大サイン症状「痛む」「しこる」「黒ずむ」をチェックしましょう

①「痛む」

狭心症や心筋梗塞の心臓がギュッと絞られるような痛みが代表ですが、頭痛や腹痛、関節痛、胃潰瘍のキリキリと刺すような痛みも瘀血のサインです。

②「しこる」

血行不良が続くとその場所が盛り上がったたり腫れたりします。それが「しこり」です。子宮筋腫や卵巣腫瘍などのコブ

状態になるものや皮膚の硬化、結節なども一例です。

③「黒ずむ」

黒ずみは舌や皮膚にあらわれます。特に舌は血液の色を敏感に映します。健康な人の下はピンク色ですが、瘀血があると暗紫色になったり、一部に紫色の斑点がでたりします。皮膚の黒ずみも瘀血のサインです。

瘀血の治療「活血化瘀法」

瘀血の治療をする方法を「活血化瘀（かつつけつかお）」といいます。「活血」は「活き活きとした血にする」ということ、「化瘀」の「瘀」はとどこおりのことで「化」はその状態を変化させ、取り除くことをいいます。

●イスクラ産業「冠元顆粒」

- 九〇包入り 一三、二五〇円
- 四五包入り 七、〇三五円
- 二一包入り 三、五〇〇円



「冠元顆粒」についてのご相談・質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております。

*本号はリヨン社刊「脳と心臓の血管は丹参で蘇る」阿倍博幸・路京華共著の内容を要約しました。

「健康的にダイエット！」なら「マイクロダイエット」をお試しください

マイクロダイエット正規取扱店

ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150

当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>

